基板作成の歴史

プリント基板は1943年、オーストラリアの発明家、ポール・アイスラーによって発案された。それから70年以上かけて、電子部品が次々と登場・小型化し、電子基板は身の回りのあらゆる製品に必要不可欠な存在となった。

・エッチング

業者に発注できるようになった。

業者への発注は特急で頼めば2,3日、長くて3~4週間かかる。

このように電子基板は日々進化を遂げている。

ミリングマシン

ミリングマシンはデジタルファブリケーションのひとつである。

デジタルファブリケーションとは、

ミリングマシンによる基板制作

ミリングマシンを使えば、銅箔厚の表面を削り取ることによって回路を設計することができる。作成した回路図から、トレース用、ホール用、切り出す用の画像を生成する。（表面実装のみの場合はホール用の画像は必要無い）その画像をコードに変換してミリングマシンに削り方にあったドリル刃と設定をかえてしまえば、その場で回路図が作成される。

ミリングマシンは一般家庭に導入されるまではないが、ファブラボなどの市民に開放されている工作工房で使用することが可能だ。

現在